

商業科（経済活動と法）学習指導案

月日	6月10日（金）
時限	1時限

流通ビジネス科	3年2組	3年2組教室	指導者	中村 洋蔵	
単元	第3章財産権と契約そしてその保護 第1節財産権と契約		教科書	経済活動と法	
			発行所	実教出版	
単元目標	1. 取引と契約について理解させるとともに、自分の身の回りで実際に行われている契約について考えさせる。 2. 契約自由の原則を理解させるとともに、公序良俗や付合契約について理解させる。 3. 契約と意思表示について理解させ、心裡留保、虚偽、錯誤、瑕疵などの言葉を理解させる。 4. 契約の分類について理解させるとともに、それぞれの性質を理解させる。				
指導計画	第2章 第1節 権利と義務とその主体 3時間 第2節 物と財産権 6時間 第3章 第1節 財産権と契約 8時間（本時 8時間中1時間目） 第2節 物の売買 6時間				
本時目標	1. 契約の成立に必要なことを理解させるとともに、契約によって債務と債権が生じることを理解させる。【知識・理解】 2. 契約自由の原則が近代社会における法の一般原則であることを理解させるとともに、公序良俗や付合契約における約款について理解させる。【知識・理解】 3. 真意でない意思表示の中でも特に心裡留保について理解させるとともに、虚偽と錯誤の言葉を理解させる。【知識・理解】				
資料準備	教科書，問題集，ノート				
	指導内容	学習活動	学習形態	時間(分)	指導上の留意点 (教師の支援)
導入	本時の目標と学習内容の確認をする。	・本時の学習内容の確認をする。	全体	5	契約が生活に不可欠なことを理解させる。【関心・意欲・態度】
展開	1 契約 ① 申し込み ② 承諾 ③ 債務・債権 ④ 身近な契約の事例について	・教科書を読む。 ・説明を聞く。 ・自分が最近した契約について発表する。 ・板書をノートにとる。	全体	15	・生徒を指名して、教科書を朗読させる。 【関心・意欲・態度】 ・契約には書面を使うが、書面を使わないでも契約が成立することを理解させる。【知識・理解】 ・重要な用語や用語の意味を理解させる。
	2 契約の一般原則 ① 契約自由の原則 ② 公序良俗 ③ 付合契約	・教科書を読む。 ・説明を聞く。 ・実際に約款を見る。 ・板書をノートにとる。		10	【知識・理解】
	3 契約と意思表示 (1)真意でない意思表示 ① 心裡留保 ② 虚偽表示 ③ 錯誤による意思表示	・教科書を読む。 ・説明を聞く。 ・板書をノートにとる。	10	・心裡留保と虚偽表示の区別がつけられるように、単独虚偽表示と通謀虚偽表示の話をする。【知識・理解】	
	4 問題演習	・問題集を解き、理解を深める。	個別	8	・問題の読み書きで、言葉に慣れさせる。【知識・理解】
まとめ	本時のまとめ	本時の要点の復習。	全体	2	本時の要点を確認する。 【知識・理解】
評価	1. 契約の成立に必要なことを理解させるとともに、契約によって債務と債権が生じることを理解できたか。【知識・理解】 2. 契約自由の原則が近代社会における法の一般原則であることを理解させるとともに、公序良俗や付合契約における約款について理解できたか。【知識・理解】 3. 真意でない意思表示の中でも特に心裡留保について理解させるとともに、虚偽と錯誤の言葉を理解できたか。【知識・理解】				